

学校における 働き方改革フォーラム

ご参加いただきありがとうございます

15時30分より開始しますので、今しばらくお待ちください

(終了予定時刻: 17時00分)

フォーラム開始にあたり

1. 本日のフォーラムは録画をさせていただき、後日、文部科学省公式 YouTube にて公開予定です。
2. 本日の資料は以下よりご確認ください。
http://bit.ly/doc_wrs2022
3. チャットにてご質問を受け付けております。
4. フォーラム終了後、アンケートにご協力をいただくと幸いです。

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です

- ・教員業務支援員の活用について
- ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

改訂版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

- ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です
- ・教員業務支援員の活用について
 - ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

令和3年度版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

- ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です
- ・教員業務支援員の活用について
 - ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

令和3年度版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です

- ・教員業務支援員の活用について
- ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

令和3年度版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡



ゼロ

0から始める！

ICTを活用した 働き方改革

小学校編

<https://youtu.be/2KsxnIBNu30>

ゼロ

0から始める！

ICTを活用した

働き方改革

中学校編

<https://youtu.be/v1hLJP1FfSs>



見せます！

教員業務支援員が
活躍している学校のヒミツ

<https://youtu.be/ll9015I2xq8>

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です

- ・ICTを活用した働き方改革について
- ・教員業務支援員の活用について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

令和3年度版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

- ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です
- ・教員業務支援員の活用について
 - ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

令和3年度版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

- ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です
- ・教員業務支援員の活用について
 - ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

改訂版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡



「改訂版 全国の学校における働き方改革事例集」 完成しました。

改訂版事例集のご紹介

FROM 岐阜県岐阜市立岐阜中央中学校

「学びを止めないICT」から「働き方改革のICT」へ

導入当初は生徒の学びを止めないことを目的としたICTを働き方改革のツールとしても活用し、その利用効率を上げる取り組みが実現している岐阜中央中学校。ICT活用への転換は数回の試みで少しずつ広がってきています。

【岐阜県岐阜市立岐阜中央中学校】
校長 藤原 雅彦
副校長 山内 礼子
教務主任 藤原 雅彦
ICT活用推進部長 藤原 雅彦
ICT活用推進課長 藤原 雅彦
ICT活用推進員 藤原 雅彦



ICT活用推進部長 藤原 雅彦
ICT活用推進課長 藤原 雅彦
ICT活用推進員 藤原 雅彦

ICT活用推進部長 藤原 雅彦
ICT活用推進課長 藤原 雅彦
ICT活用推進員 藤原 雅彦

ICT活用推進部長 藤原 雅彦
ICT活用推進課長 藤原 雅彦
ICT活用推進員 藤原 雅彦

Interview with Teachers

ICT機器に苦手意識をもつ先生方も多くいる。岐阜中央中学校ではどのようにICTを活用して働き方改革を進めていったのか、先方方に話を伺いました。

上松 英寿
教務主任、ICT活用推進部長、ICT活用推進課長、ICT活用推進員

山内 礼子
副校長、ICT活用推進課長、ICT活用推進員

「学びを止めないICT」から「働き方改革のICT」へ

導入当初は生徒の学びを止めないことを目的としたICTを働き方改革のツールとしても活用し、その利用効率を上げる取り組みが実現している岐阜中央中学校。ICT活用への転換は数回の試みで少しずつ広がってきています。

ICT活用推進部長 藤原 雅彦
ICT活用推進課長 藤原 雅彦
ICT活用推進員 藤原 雅彦

Before→After

岐阜中央中学校では、実際に先生の業務の中心となるようにICTを活用しているのが、そして働き方改革につながる大きな変化が生まれましたが、4つのケースをご紹介します。

ケース1
Before: 授業へのタブレット利用に苦手を覚悟する多数の先生
After: ICT機器の活用をサポートでタブレット活用者の増加

ケース2
Before: 全職員への資料は全て紙で印刷
After: 全職員もTeamsのチャットで資料を共有し、ペーパーレス化

ケース3
Before: アンケートは紙で回収、結果を手入力
After: Formsを使ってアンケートを作成

ケース4
Before: 印刷物の廃棄事項は口頭メモで伝達
After: タブレット上で業務事項を確認できるようフロー整備

Movie from 岐阜中央中学校

岐阜中央中学校のICT活用による授業改革の様子については、文芸科学者のYouTubeチャンネルに動画が公開されています。動画の「Before→After」の様子を是非ご覧ください。



「学びを止めないICT」から「働き方改革のICT」へ

タブレット導入、授業の声

ICT活用による授業改革の様子

ICT活用による授業改革の様子

ICT活用による授業改革の様子

改訂版事例集のご紹介

FROM 千葉県千葉市立加曾利中学校

教員業務支援員の活用で 教師の負担軽減を

教師が本来接への指導や教材研究等に専ら力を注ぎ、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

加曾利中学校では、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

支援スタッフとして配置される教員業務支援員

教師が本来接への指導や教材研究等に専ら力を注ぎ、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

加曾利中学校での勤務状況

加曾利中学校では、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

ガイドラインは教育委員会が提案

教育委員会は、教員業務支援員の活用に関するガイドラインを提案しています。これは、教員業務支援員の活用に関する具体的な方法や役割などを示しています。これにより、各学校が教員業務支援員の活用を進める際の参考にすることができます。

先生方が子供たち向き合い時間が増えること

教員業務支援員の活用により、先生方が子供たちと向き合う時間が増えることが期待されています。これにより、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まることが期待されています。

市内の各校で進む教員業務支援員の活用

加曾利中学校だけでなく、市内の他の中学校でも教員業務支援員の活用が進んでいます。これは、教員業務支援員の活用が効果的であると認識されているためです。

教員業務支援員は、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

Interview with Teachers

教員業務支援員の導入で学校現場はどうか変わったのか。校長先生、教員先生、導入に関わった千葉市教育委員会の担当者、支援員の方々に話を伺いました。

内山俊雄 校長先生

教員業務支援員の導入により、先生方が子供たちと向き合う時間が増えることが期待されています。これにより、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まることが期待されています。

長谷川明明 教員先生

教員業務支援員の活用により、先生方が子供たちと向き合う時間が増えることが期待されています。これにより、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まることが期待されています。

教育委員会のサポートで 支援員とともに歩む学校へ

教育委員会は、教員業務支援員の活用に関するガイドラインを提案しています。これは、教員業務支援員の活用に関する具体的な方法や役割などを示しています。これにより、各学校が教員業務支援員の活用を進める際の参考にすることができます。

各教員の空想時間が増え、なくてはならない存在に

教員業務支援員の活用により、先生方が子供たちと向き合う時間が増えることが期待されています。これにより、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まることが期待されています。

市内の各校で進む教員業務支援員の活用

加曾利中学校だけでなく、市内の他の中学校でも教員業務支援員の活用が進んでいます。これは、教員業務支援員の活用が効果的であると認識されているためです。

A Day of School Support Staff

加曾利中学校で働く教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）様とご対話し、あなごの業務の流れをまとめてみました。

8:30 勤務開始・業務依頼の確認

1・2校時目 印刷業務

3・4校時目 教員スペースでデータ転記

5校時～15:30 教員事務補助

教員業務支援員は、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

Movie from 加曾利中学校

加曾利中学校での教員業務支援員活用の様子については、文部科学省のYouTubeチャンネルに動画が公開されています。動画をぜひご覧ください。

教員業務支援員とは

教員業務支援員は、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

教員業務支援員に 依頼している業務

教員業務支援員は、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

教員業務支援員に 依頼している業務

教員業務支援員は、教員業務支援員として、教員業務支援員を1名配置し、活動の継続の支援や記録、負担軽減を目的に「教員業務支援員」を活用している中学校の取組です。本冊「活用で業務改善の具体的な方法」[支援スタッフの確保・活用] (p.140-142) では、教員業務支援員の業務内容などについて詳細をまとめています。あわせてご覧ください。

改訂版事例集のご紹介

事例で知る 業務改善の 具体的方法

全国の学校における働き方改革の取組について、多様な事例を紹介します。
ページごとに記事をもとめているので、必要なページのみ印刷するなどしてご利用ください。
令和3年度版に掲載している事例をベースに、新事例を追加しています。

*特に取り巻きのない限り、注文中の掲載は令和2年度に実施した事例をもとに掲載・編集しています。

Contents

- Part 2 の構成 — 17
- Part 2 の読み方 — 18
- 取組リンクリスト — 19
- インタビューリンクリスト — 24
- 組織的な取組 — 28
- 業務ごとの取組 — 28
- 業務分組の見直し — 117
- 執筆時間の創出 — 129
- 支援スタッフの確保・活用 — 140

Part 2

全国の学校における働き方改革事例集
取組リンクリスト①

取組内容をクリックして、各詳細ページに移動することができます。黄色の枠は令和3年度版の取組として追加した内容です。

学習指導

① 教材研究や作成

教材の共有	21.5mm	授業や学校日誌のデジタル化	14.3mm	授業・指導案の電子化	14.3mm
-------	--------	---------------	--------	------------	--------

② 授業・指導案の作成

自主的な家庭学習への取組	66.7mm	家庭学習のやり方の見直し	66.7mm	家庭学習のオンライン導入	33.3mm
--------------	--------	--------------	--------	--------------	--------

③ 授業で使用するプリント印刷

紙ではなく電子で授業資料へ配布	43.0mm	PCから画像印刷	43.0mm	掲示の見直し	21.5mm	学校日誌の見直し	16.7mm
-----------------	--------	----------	--------	--------	--------	----------	--------

学習評価

① テスト作成・採点

採点業務の外部サービス分注	108mm	採点システムの導入	25.0mm	小テストの採点の自動化	21.5mm	定規検査の見直し	20.0mm
---------------	-------	-----------	--------	-------------	--------	----------	--------

② 追加業務の作成・点検

採点への取組見直し	10.8mm	小テストに採点	10.8mm	採点期間の確保	
-----------	--------	---------	--------	---------	--

③ 追加業務の作成・点検

所見の見直し	30.0mm	前期や1,2学期の所見の見直し	20.0mm	二期制の採用	15.0mm
--------	--------	-----------------	--------	--------	--------

④ 採点業務の廃止

採点業務の廃止	1.5mm	家庭からの回収見直し	0.5mm
---------	-------	------------	-------

生徒指導

① 給食指導

担任交代による給食指導	25.0mm	自動手帳用巻物の導入	16.7mm	制服の見直し		生徒の様子を日常的に見る	
-------------	--------	------------	--------	--------	--	--------------	--

② 登下校指導・校門チェック

③ 顧問の学習指導・生徒指導

進路指導・進路状況の調査

① 進路希望調査・進路先データの収集

データ収集のWebアンケート化	3.0mm	メールの活用	10.8mm	個別進路相談会の外部委託	3.0mm	オンライン会議での実施	1.0mm
-----------------	-------	--------	--------	--------------	-------	-------------	-------

② 大半のやりとり

③ 進学の事前指導・事後指導

学習指導① 教材研究や作成

教材の共有

取組内容

- 作成した教材を校内の共有フォルダや、クラウド上の共有フォルダに残していくこととした。

削減時間

1人あたり1時間の目安

週 30分×年 43週 = 21.5 時間/年

事例提供校からの声

導入効果

- 教材研究の時間を短縮するとともに、授業の質が向上した。
- 学年で学習ペースを合わせることができた。
- 必要な教材がすぐに手に入られるようになった。

課題・対応

- どこにどの書類があるのか把握できない。
- フォルダ活用に関するルールを設ける。
- 教務分掌や学年・教科・専任ごとにフォルダを整理した。

学習指導② 授業・指導案の作成

授業や学校日誌の電子化

取組内容

- 授業を電子化した。
- 学校年間行事計画、月予定、週予定、学校日誌を連携させた。

削減時間

1人あたり1時間の目安

週 20分×年 43週 = 14.3 時間/年

事例提供校からの声

導入効果

- 授業時数計算などの事務作業を不要にした。
- 学校年間行事計画、月予定、週予定、学校日誌を連携させたことにより、入力作業が改善され、事務作業に費やす時間が大幅に減少した。また、転記ミスを防ぐことにもつながった。

課題・対応

- 誰が設計するか、また、どのように使い方を周知すればよいか。
- 全体の設計を教務が行い、使い方を一者に講習した。

インタビュー p. 31 デジタル授業による授業時数計算の短縮

学習指導② 授業・指導案の作成

デジタル授業による授業時数計算の短縮

インタビュー

学校全体で統一したソフトを導入したことで授業時数計算を効率化した千葉県柏市立手賀西小学校にお話を伺いました。

導入前はどのような課題があったのですか？

A. 本学では指導計画簿のソフトで入力しているのですが、各自が手書きで記録することが習慣化されていました。他の自治体でも採用したワークシートについてのCD-Rに付属しているものを各自で使っているところが多いのではないのでしょうか？

A. 各教員が手書きをしていると、そこから電卓で計算して教務に提出して、教務はまたそれを取りまとめて…と非常に非効率です。各自がCD-Rから落として使っているとトラブルがあったとき、他の教員がサポートすることもできませんでした。

学校で統一したソフトを導入したことで、どのような効果がありましたか？

A. 時数計算や教務の取りまとめの時間が大きく減りました。また、少し前にソフトがうまく動かなくてデータが消えてしまったということがあったのですが、まとめてバックアップを取っていたので、回復できました。

ソフト購入の予算はどうされたのですか？

A. 管理職に相談し、学校配当予算で購入しました。毎日使うものなので大きく効率化できてよかったです。

関連頁 取組事例 p. 29 授業や学校日誌の電子化

授業提出の電子化

インタビュー

表計算シートに入力した授業提出を電子化されている高等学校にお話を伺いました。

どの部分を電子化されたのですか？

A. 元々授業は学校一の表計算シートで作成しているのですが、印刷して、押印して紙で提出していました。それを、表計算シートをPDF化して電子押印の上、提出する流れにしました。

電子押印はどのように実現されたのですか？

A. 年度始めに教職員全員分の印影を登録しました。印刷して押印するのは1回だけなら大した時間ではありませんが、授業のように毎週出すものは提出されているか確認するほうも手間です。パソコン上で作業が完了するようになってよかったです。

改訂版事例集のご紹介

明日からできる グループウェア 活用法

グループウェアをどう働き方改革に活用していくか、具体的なツールの使い方をまとめたパートです。各自治体、各学校によって取り扱うグループウェアは異なります。それぞれの学校に合ったツールの紹介ページを参考にしてください。
*特に週刊研修本の21~24頁、卒業生活動の情報は令和2年度に収集した情報をもとに令和3年11月時点の情報も加え、掲載しています。各グループウェアに関するデザインや仕様などに関する情報は各グループウェアにてご確認ください。

Contents

- グループウェア活用メリット --- 148
- グループウェア活用法一覧 --- 149
- コラムリンクリスト --- 150
- やりとり --- 151
- 予定管理 --- 172
- 調査 --- 175

Part
3

調査
教職員・児童生徒・保護者にアンケートを行う

Web アンケートを取り入れることで、印刷やデータ入力などの多忙な業務を解消します。

Before

- 印刷・配布の手間: 教職員が印刷と配布を行います。
- 入力の手間: 児童生徒や保護者が紙に記入し、教職員がデータ入力を行います。

After

- 印刷時間の削減: Web アンケートフォームを使用します。
- 入力時間の削減: 入力内容が自動でデータ化されます。

必要なもの

- Web アンケートフォームのツール: Google フォーム, Microsoft Forms
- 保護者向け一斉メール配信ツール: 一斉メール配信ツールがない場合はプリントで QR コードを配布し代替

関連頁 Part2_p.51 / p.76 / p.83 / p.86

調査
教職員・児童生徒・保護者にアンケートを行う

Google フォームによる、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

クラスなどを選択してもらう場合

- 1 タイトル...「クラス」などを入力する
- 2 フォームの形式...「ラジオボタン」をクリックする ※クラス数が多い場合は、「プルダウン」をクリックして作成する
- 3 選択肢の入力... クラスなどを入力する
- 4 必須チェック... 必ず回答してほしい質問にはチェックする

出席番号などを入力してもらう場合

- 1 タイトル...「出席番号」などを入力する
- 2 フォームの形式...「記述式」をクリックする
- 3 説明の入力... 「」⇒「説明」をクリックし、説明文を入力する
- 4 回答の制限... 「」⇒「制限」をクリックし、「数値」をクリックする
- 5 回答の検証... 「」⇒「回答の検証」をクリックし、「数値」「整数」をクリックする (エラーメッセージの入力もできる)

※「回答の検証」を設定し、整数のみに入力制限することで、出席番号の欄に間違えて数字が入力されるという心配を減らすことができます

※必須チェック... 必ず回答してほしい質問にはチェックする

関連頁 Part2_p.51 / p.76 / p.83 / p.86

調査
教職員・児童生徒・保護者にアンケートを行う

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

クラスなどを選択してもらう場合

- 1 フォームの形式...「+新規追加」⇒「テキスト」をクリックする
- 2 タイトル...「クラス」などを入力する
- 3 選択肢の入力... クラスなどを入力する ※クラス数が多い場合は、学年・クラスを別の質問で作成する
- 4 必須チェック... 必ず回答してほしい質問にはチェックする

出席番号などを入力してもらう場合

- 1 フォームの形式...「+新規追加」⇒「テキスト」をクリックする
- 2 タイトル...「出席番号」などを入力する
- 3 説明の入力... 「」⇒「サブタイトル」をクリックし、説明文を入力する
- 4 回答の制限... 「」⇒「制限」をクリックし、「数値」をクリックする
- 5 必須チェック... 必ず回答してほしい質問にはチェックする

※後ほど Microsoft Excel で並び替えて提出有無を確認する場合、1 番の出席番号は「1」ではなく「01」と入力してもらうと便利

関連頁 Part1_p.8, 8 児童等立候補中学校の取組 Part2_p.51 / p.76 / p.83

項目	内容
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...

フォルダを用い、セキュリティ面の課題をクリア

本校の教員業務支援員はパソコン操作も得意です。個人情報に関わる配布物の作成も依頼したかったのですが、共有フォルダへのアクセスは、セキュリティの面から制限されていたため、

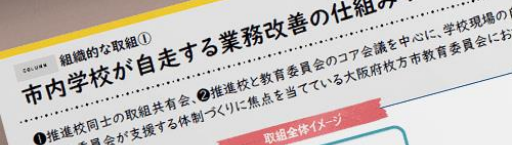
効率的な勤務環境の確保

以前は、教員業務支援員の机を事務室に置いていましたが、職員室に配属しました。そうすることで、教員と支援員の機が離れ、仕事をスムーズにこなすことができました。

組織的な取組①

市内学校が自走する業務改善の仕組みづくり

①推進校同士の取組共有会 ②推進校+教育委員会のコア会議を中心に、学校現場の自主を教育委員会が支援する体制づくり



取組全体イメージ

1人の推進校主事が2~3校を担当し、定期的に状況ヒアリング

各校で業務改善のアイデア出しワークショップを実施

- ※一部の学校では、PTA 役員や学校運営協議会委員も参加
- すぐに取組に移したことで、以下のよみなどが挙げられます。
 - ・タスクの回数が多いので伝言板を活用
 - ・保護者等に電話対応時間を通知
 - ・担任が丸つけ補助など

教方市の取組のポイントは何ですか?

A. ①立候補して推進校を決めたこと。②推進校なら成果を上げてくれるだろうという決めでうまくいきました。また、

A. 「推進校」という概念を挙げ、自主的に取組むことを奨励しています。

推進校からはどのよう声が上がっていますか?

A. ワークショップで先生方からは「授業改善ではなく業務改善で取り組んでほしい」「何か本業に必要かを考えることができた。また以前思っていたことが人々あふれて、勇気を出してほしい」といった声や、PTA 役員の方からは「量産して欲しい」という声も聞かれています。

支援スタッフの確保・活用③

教員業務支援員インタビュー

川崎市教育委員会は、教員業務支援員(スクール・サポートスタッフ)を導入して4年目になります。モデル校として、教員業務支援員を導入当初から活用している川崎市立末長小学校にお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用④

教員業務支援員への業務依頼表

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

記入者	依頼内容	印刷詳細	留意点
	1. 印刷 2. ラミネート 3. 資料綴じ 4. シュレッダー 5. その他	サイズ / 用紙 / 片面 or 両面 / 部数 部	

5 シンプルな書き方を心がけよう。

メール以上に、チャットでは長い文章が読まれないものです。項目に分けて▼連絡事項 ▼背景、▼依頼事項、▼手取りやすい表現にしましょう。

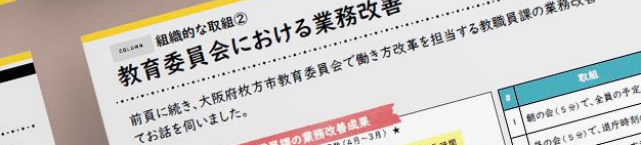
6 「質問」「雑談」グループを活用しよう。

伝達事項などは「雑談」グループの使い分けや「@」の活用が大ですが、一方で、「この本が役立ったから読んでみて!」など、気軽にやり取りできる場も設けるとチャット上のコミュニケーション活性化に繋がります。

組織的な取組②

教育委員会における業務改善

前頁に続き、大阪府枚方市教育委員会で働き方改革を担当する教職員課の業務改善についてお話を伺いました。



- 教職員課の業務改善成果
- | 取組 | 令和3年度 | 令和2年度 |
|--------------------|-------|-------|
| 1 朝の会(5分)、全員の予定共有 | 90.0% | 92.3% |
| 2 昼の会(5分)、退席時刻の宣言 | 75.0% | 75.0% |
| 3 人事7分間の回数・方法の変更 | 80.0% | 80.0% |
| 4 校舎面談の接待廃止(案内員のみ) | 63.3% | 64.3% |
| 5 部長の速報廃止 | 88.9% | 88.9% |
| 6 一部課考の平日実施 | 94.7% | 94.7% |
| 7 課外外の学習会の一部縮小 | 72.7% | 72.7% |
| 8 年度途中で効果的な業務終了に変更 | 84.8% | 84.8% |
| 9 課外研修の廃止(携帯電話で対応) | 45.5% | 45.5% |

どのような問題意識のもと、取組を始めたのですか?

A. 長時間勤務があたり前であり、前例踏襲で何も変わらないまま業務を行っていた業務が多かったりといったことへの問題意識からスタートしました。

例えば、どのような改善を行ったのですか?

A. 例えば、校舎面談で校長先生がいられる間に指導主事が専らで待機していたのですが、計算してみると、指導主事の人数が足りないという状況でした。そこで、

働き方改革に取り組み、どのように感じましたか?

A. 前例踏襲を見直し、本当に必要なことだけを残していくことで、浮いた時間でどういこうこともできるかもと指導主事自身のモチベーション向上にも繋がりました。是非、学校の先生にもそのように感じてほしいと思っています。

支援スタッフの確保・活用①

教員業務支援員について

「教員業務支援員」は、教師が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、教師の業務を支えています。



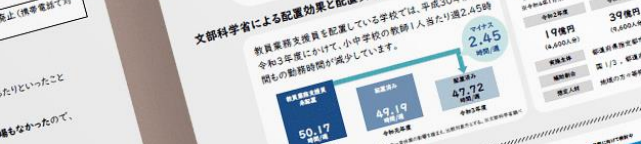
文部科学省による配置効果と配属支援

教員業務支援員を配置している学校では、平成30年度から令和3年度にかけて、中小学校の教師1人当たりの2.45時間、削減効果は47.72%です。



教員業務支援員の配置状況

教師の業務負担を軽減するための支援スタッフについては、都道府県85.1%、政令市100%、市区町村81.3%の自治体で配属されており、そのうち6%は、教員業務支援員として任用している人材が配属されています。



支援スタッフの確保・活用②

教員業務支援員への業務依頼表

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用③

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用④

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用⑤

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用⑥

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用⑦

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用⑧

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用⑨

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

支援スタッフの確保・活用⑩

教員業務支援員への依頼について

どのような依頼表を使用しているか東京都各教育委員会立派な学校をお話を伺いました。

欠席連絡のデジタル化 QA

フォームを活用した欠席のデジタル化にあたって、想定される保護者や教員からの疑問とそれに対する回答をまとめました。

Q. 保護者はどのように繰り返しフォームへアクセスするのですか?

A. フォーム URL を記載したメールを保存する。フォーム URL をブックマークするなどの対応を、保護者にお伝えください。学校 HP に保護者しかアクセスできないページがある場合は、そのページにフォーム URL を記載している学校もあります。

Q. 子供が勝手にフォームを提出することはありますか?

A. それを防ぐために、保護者の方に保護者向けメールのみで展開し、子供には開かないように設定しています。学校 HP に保護者しかアクセスできないページがある場合は、そのページにフォーム URL を記載している学校もあります。

Q. 運用ルールとして何が必要ですか?

A. 導入済みの学校では最低でも以下2点のルールを定めています。

- ・保護者に何回までフォームを提出してもらおうか
- ・提出時に何まで提出したか、そのあとは電話連絡とするか
- ・利用済みのフォームを削除するかどうか

文部科学省 公式ホームページ

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY

会見・報道・お知らせ | 政策・審議会 | 白書・統計・出版物 | 申請・手続き | 文部科学省の紹介

緊急のお知らせ 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について
更新：2月14日 NEW

教育 | 科学技術・学術 | スポーツ | 文化

その他の分野（国際関係など）

文部科学省からのお知らせ

学校における働き方改革について

ICT・教員業務支援員の活用に関するドキュメンタリー映像の公開

働き方改革事例集

ICT活用推進 授業効率化に取り組む学校

教員業務支援員 活躍の場を拡大

注目情報

令和4年2月1日更新
大学入試情報提供サイト
文部科学省が、大学入試についての情報を提供するサイトです。

令和4年1月21日
大学入学共通テストの本試験及び追試験も受験できなかった皆さんへ

令和4年2月4日
学生等の学びを継続するための緊急給付金の二次推挙に関するお知らせ

令和3年10月7日
学習支援コンテンツポータルサイト（子供の学び応援サイト）」更新

新着情報

新着情報一覧 | 審議会情報一覧

審議会情報 大学院部会（第104回） 配付資料

その他 日本ユネスコ国内委員会第146回教育小委員会の開催について

採用案内 【総合職技術系】業務説明会日程一覧

採用案内 文部科学省研究開発局原子力調査推進部競争和発中小企業推進事務所 非常勤職員（期間業務職員）採用の告知

公開情報 「大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブ推進要領案」の公表について

報道発表 文部科学省における新型コロナウイルス感染症の発生について（令和4年2月16日）

新着情報メールマガジンの登録はこちら

今日の出生率

令和4年2月4日

第74回優良公民館表彰及び令和3年度「家庭教育実践チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰 表彰式

文部省が管理するアカウント一覧

ピックアップコンテンツ

文部科学省 **生きる力** 学びの、その先へ
子供の未来を支える皆さまと共有したい新しい学習指導要領

キッズページ 八はうごま?

若者の海外留学を官民協働で応援！ **トビタテ! 留学JAPAN**

学校と地域でつくる学びの未来
コミュニティ・スクール | 協働活動 | 企業等による体験活動

働き方改革事例集

困ったらまずは相談してください **新型コロナの影響を受けた学生等の経済支援**

子供の学び応援サイト

学校関係者へのリンク | 学校・子供支援ポータルページ | 掲載

大学入試情報提供サイト

GIGAスクール構想の実現
一学級に1人1台ICT端末を、活用する

子供たちの「学びの保障」

最近よくあるご質問にお答えします

高等教育の修学支援新制度
LINE 公式アカウント

マナパス 大学入試情報提供サイト

サイトマップ | 法務局関係 | 官公庁関係 | English
お問い合わせ | お問い合わせセンター | リンク集 | 著作権について | アクセスのしやすさの向上について
文部科学省 〒100-8993 東京都千代田区正府省庁地区2番2号2階 電話番号 03-6253-4111(内線) 030-3712-4111 (IP 電話利用) 法人番号 7000012000001 東京都
Copyright (C) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

ICTを活用した校務効率化の活用事例①

GIGA スクール構想に伴い教職員にも一人一台端末の体制が整ったことを働き方改革の好機と捉え、文部科学省が発信している情報を参考に、町内各小中学校に対し、ICT を活用した校務の効率化への取組を依頼。三重県御浜町立尾呂志学園小中学校においては、各自の端末を活用して会議のペーパーレス化を実施。取組の内容について学校にお伺いしました。

Q どのようにペーパーレス化を実現しましたか？

令和2年3月に教員用の端末が配布されました。授業には端末を活用していたものの、校務への活用は進んでいませんでした。

令和3年度の目標として、会議のペーパーレス化に取り組むことを職員会議で決めました。端末の資料共有機能を活用して、令和3年の7月から開始しました。

Q ペーパーレス化に取り組んだ背景は？



教頭先生

授業には端末を活用しているのに、自分たちの仕事に活用できていないのはもったいないと感じていました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、万が一在宅勤務になった場合でも仕事ができるようにしたいと考えました。

Q 予想外の効果もあったそうですね？

紙を廃止したわけではなく、議論したい資料は紙で、量が多い添付資料は端末で共有という形にしました。その結果、議論が発散せず、会議時間が短くなりました。

端末で会議資料を共有したことにより、職員室以外でもいつでも過去の資料を見ることができ、スキマ時間に作業しやすくなりました。

Q 先生方の反応はいかがですか？



先生

初めはメモができる紙の資料の方がやりやすいと感じていましたが、無料のアプリでメモができるようになったので不便を感じなくなりました



先生

紙の資料を大量に印刷する手間が省けたので、余裕をもって会議資料を準備することができるようになりました。



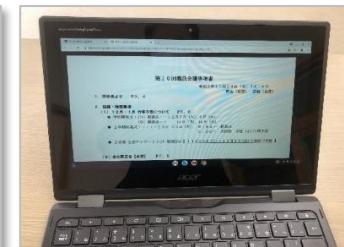
先生

以前は、資料が大量にある場合は、全員分用意するのではなく回覧していました。ペーパーレス化されて、自分の都合のいいときに後から見直すことができ、必要なものだけ印刷するようになりました。

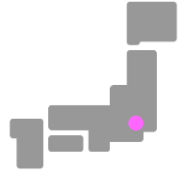


先生

会議資料を後から見返せるように、紙によってファイリングするのが手間に感じていました。ペーパーレス化を実施して電子ファイルの保管ルールを作ったことで、会議資料を後から探しやすくなりました。



ICTを活用した校務効率化の活用事例②-1




茨城県筑西市教育委員会では、保護者への緊急連絡の手段として市内共通の連絡アプリを導入。特にICTを活用し校務の効率化に力を入れている上野小学校では、欠席連絡や配布物、保護者面談の予約までもデジタル化。大幅な校務の効率化に加えて、家庭との確実な連絡・連携が実現。取組の内容について学校にお伺いしました。


Q 欠席連絡がどのように変わりましたか？

Before 以前は、朝の忙しい時間帯に、職員室の電話に保護者から連絡があると、電話を受けた先生が担任へ手書きメモで伝達するといった状況でした。

After 市内で共通の連絡アプリで欠席連絡を行うようにしました。教室にいても児童の欠席の連絡を受け取ることができるようになり、職員室で待機する必要がなくなりました。また、健康観察カードの受取り、押印などの業務フローを省略できました。

Q 先生方の反応はいかがですか？

 先生 欠席児童がいた場合、以前は朝の会終了後に職員室に戻って状況を確認していました。その必要がなくなり、スムーズに1時間目に入れます。

 先生 朝の検温状況や咳、腹痛などの症状の具体も、児童が入室する前に確認できるため、体調不良の児童がいても、準備等慌てずに対応できます。

Q 保護者からの夜間や休日の問い合わせもデジタル化したそうですね？

休日や平日17時以降の保護者からの緊急の連絡は「連絡フォーム」を活用しています。

「連絡フォーム」に緊急の連絡があると、管理職のアドレスにメールが届くようになっています。対応が必要な場合は担当の先生に連絡をすることにしています。

Q 保護者へのお便り配布のデジタル化等はいかがですか？



校長先生

市内で共通の連絡アプリを活用し、保護者への配布文書をPDFで送ることにしました。また、行事の出欠や保護者面談の予約もスマホでできるようにしました。



先生

学校からの手紙を確実に保護者にお伝えできるようになりました。また、過去の手紙をいつでも参照できるため、既に通知していることに関して学校への問い合わせが減りました。



保護者

紙でもらっていると子供が無くしてしまったり、管理するのが大変でした。データ配信になって、出先で学校行事や持ち物などを確認できるので助かっています。

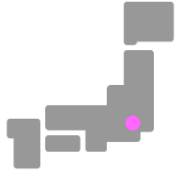


保護者

面談の予約が電話から予約フォームに変わり、気を遣うことなく予約ができます。敷居が低くなりました。

17時以降に電話がかかってくるのが大幅に減り、先生方が教材研究等に集中できたり、早く帰れるようになりました。また、連携ロスがなく、保護者対応が迅速になりました。

ICTを活用した校務効率化の活用事例②-2



筑西市教育委員会では、保護者への緊急連絡の手段として市内共通の連絡アプリを導入。特にICTを活用し校務の効率化に力を入れている上野小学校では、欠席連絡や配布物、保護者面談の予約までもデジタル化。大幅な校務の効率化に加えて、家庭との確実な連絡・連携が実現。取組の内容について学校にお伺いしました。

スマートウォッチで欠席連絡を受信



学校だよりをスマホから閲覧



フォームを活用



教員業務支援員の活用事例

大阪府門真市教育委員会では、教員業務支援員が教材の作成補助や電話対応、パソコンでのデータ入力、新型コロナウイルス感染症対策のための清掃・消毒作業など、各校の実情にあった業務を実施。学校の実情に即した教員業務支援員の効果的な活用及び業務改善を更に促進するため、令和2年度から教員業務支援員による情報交換会を実施。

Q 情報交換会をやろうと思ったきっかけは？



教育委員会

教員業務支援員から、他校の業務内容を知り、自校で生かしたいとの声がありました。

1校1名の配置のため、業務上の悩みを同じ立場で情報交換・相談できる場を持つことが今後の活動にプラスになると考えました。

活用状況アンケートを学校に実施し、アンケート結果からわかる教職員の要望や感謝の声を教員業務支援員に伝えることで、今後の業務の改善や活力に繋げてもらおうと考えました。

教員業務支援員の生の声を聞く機会を持つことで、教育委員会としても、更なる有効活用を促すためのアイデアを得るねらいもありました。

Q 学校からの声はいかがですか？



先生

他校の取り組みを知ることで、教員業務支援員の方々が自発的に仕事を見つける原動力となり、大変有効だったと思います。

Q 情報交換会をやってみていかがでしたか？



スクサポ

自身がしている仕事の確認に繋がり、他校で取り組んでいる業務も参考に取り入れることができました。電話対応の取次メモや、業務依頼メモ等を作成し、スムーズに業務依頼を受けるための工夫ができました。



スクサポ

着任当初は、どのようなことをすればいいのか戸惑いましたが、他校での取組を聞き、積極的に仕事を見つける良いきっかけとなりました。



スクサポ

日ごろの困っていることや悩みを、他校の教員業務支援員さんと共有できて安心しました。自分のしている仕事に自信を持つことができ、改善点もを見つけることができました。



先生

初めて任用された教員業務支援員さんが、他校の方から業務内容や先生たちとのコミュニケーションの取り方を教えてもらうことにより、業務の幅を更に広げて活躍してくれています。

教育課程の編成を工夫した実施事例

※令和元年度から「研究開発学校」に指定されているが、本取組については、平成14年度から実施。(<https://youtu.be/St-c96Ub2tA>)

目黒区教育委員会では、一部の区立小学校で一単位時間を40分間とした午前5時間制を導入。1日を「学びの午前」「活動の午後」と位置付け、恒常性と弾力性のバランスを図りながら、緩急ある生活のリズムを生み出し、質の高い授業を年間を通して実施。「40分授業午前5時間制」によって生み出した時間を活用し、学校独自の創意工夫ある教育活動の実現。取組の内容についてお伺いしました。

Q どのような時間割になっていますか？

学びの
午前

朝会・朝読書	8:10 ~ 8:15
	8:15 ~ 8:25
朝の会	8:25 ~ 8:35
1校時	8:35 ~ 9:15
休み	9:15 ~ 9:20
2校時	9:20 ~ 10:00
休み	10:00 ~ 10:05
3校時	10:05 ~ 10:45
中休み	10:45 ~ 11:05
4校時	11:05 ~ 11:45
休み	11:45 ~ 11:50
5校時	11:50 ~ 12:30
給食	12:30 ~ 13:15
掃除・昼休み	
裁量等	
6校時	
帰りの会・下校	15:00 ~

活動の
午後

Q どのような効果がありましたか？



校長先生

午前に5コマ分の授業を終え午後20分程度の短時間学習の時間を確保する等、先生方の裁量の時間が増え、時間割の柔軟な運用が可能になったことで、先生方のカリキュラム・マネジメントへの参画意識が向上しました。



教務主任

学年会や会議、研修の時間の確保等、教員同士で話し合いながら授業をつくり出す時間を確保できるようになりました。



先生

生み出された放課後の時間を、児童が授業で分からなかったところや苦手な学習について教員が個別指導したり、児童が学校生活について教員等に相談したりする時間として活用しています。

Q 実施にあたって工夫されたことは？



副校長先生

1授業あたり5分短くなっているため、ICT機器を活用し効率的な指導ができるようにしています。



先生

1単位時間の学習過程(導入・展開・まとめ)における手だてを工夫し、学習内容等の焦点化や指導の効率化を図っています。

Q 子供たちの反応はいかがですか？



先生

帰宅時間が早まり、「友達と遊ぶ時間ができた」「習い事の前に余裕ができた」と子供たちにも好評です。

アジェンダ

15:30 ~ 15:35

開会の挨拶

初等中等教育局財務課長 村尾 崇

15:35 ~ 15:45

フォーラム開催主旨の説明

初等中等教育局財務課 校務改善専門官 栗山 和大

15:45 ~ 16:00

働き方改革ドキュメンタリー映像の紹介

- ・ゼロから始める! ICTを活用した働き方改革 (久留米市立篠山小学校・岐阜市立岐阜中央中学校)
- ・教員業務支援員が活躍している学校のヒミツ (千葉市立加曽利中学校)

16:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

- ドキュメンタリー映像で登場される先生方のご登壇予定です
- ・教員業務支援員の活用について
 - ・ICTを活用した働き方改革について

16:30 ~ 16:45

質疑応答

16:45 ~ 16:55

改訂版事例集のご紹介

令和4年度版の追加項目の紹介・各自治体における独自の取組を紹介

16:55 ~ 17:00

事務連絡

事務連絡

1. アンケートにご協力ください

本フォーラムへのご意見，ご感想をお待ちしております

2. 事例集をぜひご活用ください

アンケートをご案内するメールに、事例集ダウンロードページのURLを記載いたします

3. 本日の様子は文部科学省公式 YouTube にて 公開予定です

途中参加/退出となってしまった方はこちらをご覧ください

4. 本日の資料は以下よりご確認ください

http://bit.ly/doc_wrs2022

▼アンケート回答URL





学校における 働き方改革フォーラム

ご参加いただきありがとうございました

適宜、Zoomからご退出ください